

日本学校教育実践学会 第29回研究発表大会 分科会発表 プログラム 8月24日(土)

一般発表A		会場:講義棟 P203教室 座長:安藤秀俊・川邊淳子
A-1	09:00~	木育STEAM教育実践の観光コンテンツとしての活用構想 —へき地の地域課題と戦略— ○森健一郎(北海道教育大学釧路校)・芳賀均(北海道教育大学旭川校)
A-2	09:20~	探究学習におけるPBLのルーブリックを活用した評価指標の開発 —高等学校理数探究での活用をめざして— ○曾根健吾(神奈川県立生田高等学校)・小原美枝(神奈川県立鶴見総合高等学校)
A-3	09:40~	「初等社会科教育法」における学生の学力観の転換に向けての一考察 —コンピテンシー・ベースの教育への転換の難しさ— ○水上丈実(北海道教育大学旭川校)・坂井誠亮(北海道教育大学旭川校)
A-4	10:00~	地域の資源を活用した探究的な学びの充実に向けて ○石塚悟史(神奈川県立厚木高等学校)
A-5	10:20~	小規模校の複数学年合同授業における「批判的思考」の様相 —中学校数学科における空間図形の見取り図表現に着目して— ○谷口千佳(美深町立仁宇布小中学校)・河田将斗(浦河町立浦河第一中学校)・久保良宏(元北海道教育大学旭川校)
A-6	10:40~	「数学の力」の差異に対応した一斉授業のあり方に関する考察 —数学指導における ICT の効果的な活用の検討— ○前田佳希(旭川市立春光台中学校)・菅原大(北海道教育大学附属旭川中学校)
A-7	11:00~	数学史を題材とした「課題学習」の具体化についての一考察 ○太刀川祥平(三田国際学園中学校高等学校)・妹尾孝一(島根大学)・久保良宏(元北海道教育大学旭川校)
A-8	11:20~	「数学の力」の差異に対応するための「教室文化」に関する考察 —数学の授業における支持的風土の醸成に受けて— ○松島絵里(旭川市立大有小学校)・菅原大(北海道教育大学附属旭川中学校)
A-9	11:40~	「数学の力」の差異に対応する授業時間外における手立てに関する考察 —「テストの振り返り」と「宿題」に着目して— ○早川裕章(旭川市立忠和中学校)・加藤翔大(占冠村立占冠中学校)・菅原大(北海道教育大学附属旭川中学校)
一般発表B		会場:講義棟 P203教室 座長:小泉匡弘・太刀川祥平
B-10	13:00~	「探究的な学び」に取り組む教師の語りの教師教育教材化についての一考察 ○川畑翼(聖ドミニコ学園中学校高等学校)・太刀川祥平(三田国際学園中学校高等学校)
B-11	13:20~	高等学校における数学科と情報科を横断する授業実践に関する一考察 —「消滅可能性自治体」に関する統計データを扱った教材を軸とした授業計画— ○嶋田奨(北海道富川高等学校)・太刀川祥平(東京学芸大学連合大学院)・佐藤卓也(旭川明成高等学校)
B-12	13:40~	中学校数学科における「探究的な学び」の授業とその具体化 ○久保良宏(元北海道教育大学旭川校)・樺沢公一(北海道教育大学旭川校)
B-13	14:00~	個の追究を導く導入の工夫と協働的な学びに繋げる個の追究 —「第二次世界大戦と日本の敗戦」の授業を通して— ○吉田雅風(北海道教育大学附属旭川中学校)・坂井誠亮(北海道教育大学旭川校)
B-14	14:20~	中学校数学科におけるPPDACサイクルを経験させる授業について —データの活用における1時間扱いの授業の構想— ○菅原大(北海道教育大学附属旭川中学校)
B-15	14:40~	特別活動におけるデジタル・シティズンシップの育成 —第6学年「みんなにとって気持ちのよい端末の使い方」の実践を通して— ○菊池勇希(北海道教育大学附属旭川小学校)

※ 研究発表では発表件数の都合により、トイレ等の休憩の時間はとっておりませんので、申し訳ございませんが発表の合間の時間をご利用いただければと思います。